

経営比較分析表（令和4年度決算）

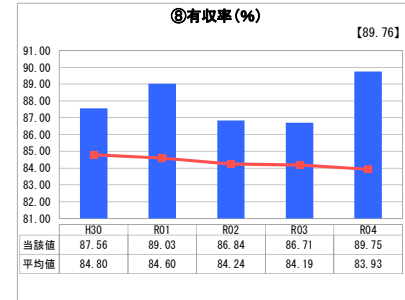
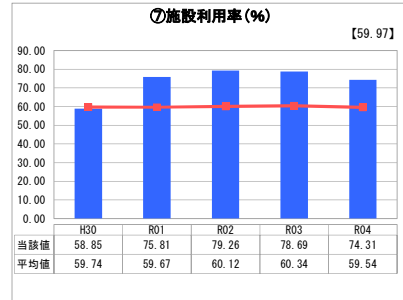
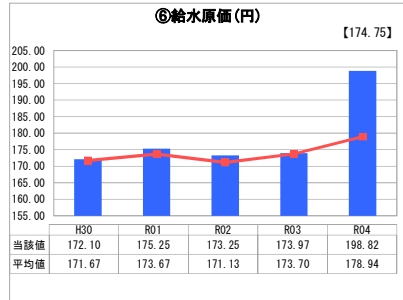
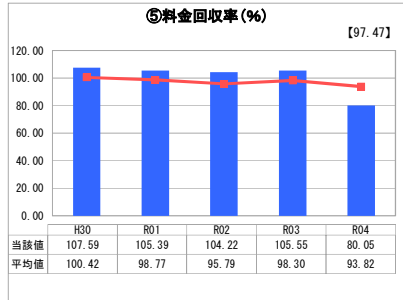
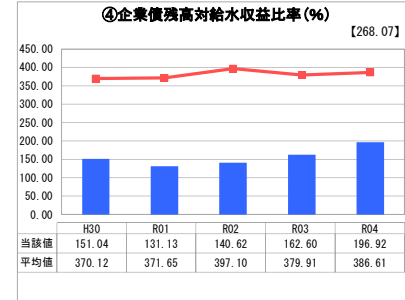
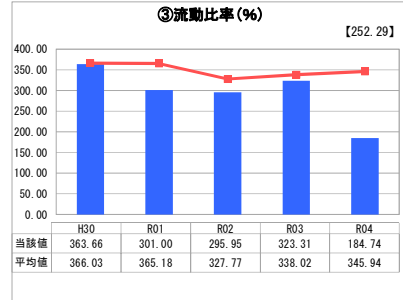
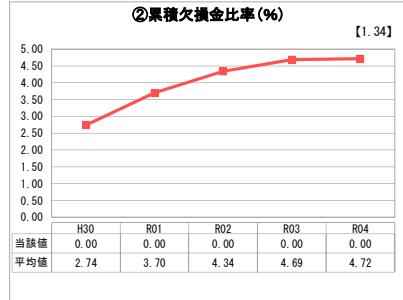
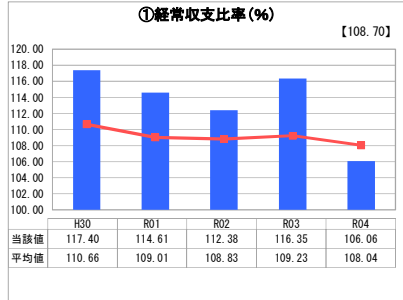
埼玉県 宮代町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20㎡当たり家産料金(円)	
-	75.75	99.98	3,003	

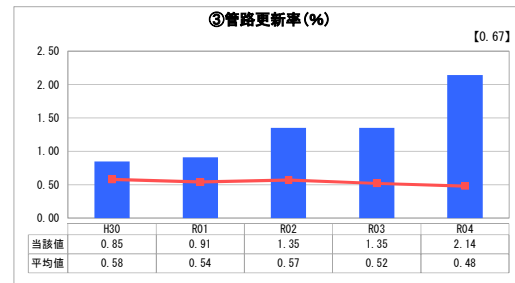
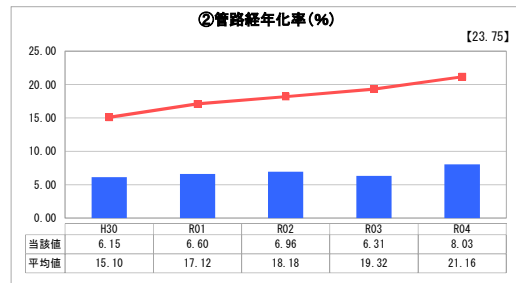
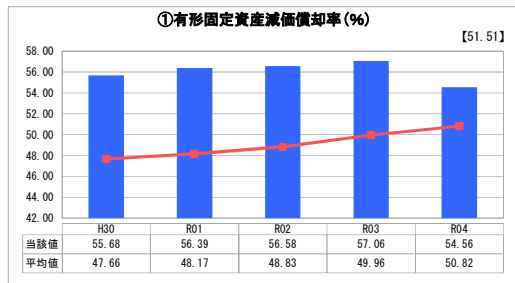
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
33,514	15.95	2,101.19
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
33,340	15.95	2,090.28

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率
前年度より10ポイントほど減少しています。これは、水道料金の基本料金免除による経常収益の減少に加え、物価高騰の影響により経常費用が増加したことによるものです。平成22年度の料金改定以降、黒字を示す100%を超えていますので、健全な経営を維持しています。
- ②累積欠損比率
なし
- ③流動比率
前年度より大きく減少しています。これは、工事費を未払金に振替えてから支払したことによるもので、決算日に流動負債が大きく増加したことによるものです。類似団体平均値を下回っていますが、100%を大きく上回っており支払能力に問題はありません。
- ④企業債残高対給水収益比率
平成13年度から令和元年度までは、起債を行わずに施設や管路の必要な更新ができており、類似団体平均値と比べ低い水準で推移しています。
- ⑤料金回収率は、前年度より25ポイントほど減少しています。これは、水道料金の基本料金免除を実施し、その免除金額分を一般会計からの補助金で賄ったことによるものです。
- ⑥給水原価は、前年度より24ポイントほど上昇し全国平均や類似団体平均値を大きく上回っています。これは、水道料金の基本料金免除を実施し、年間総有収水量が減少したこと、物価高騰の影響により経常費用が増加したことによるものです。年間総給水量や年間有収水量が年々減少しているため、引き続き経費の削減に努めます。
- ⑦施設利用率は、全国平均や類似団体平均値を上回っており、効率的な施設の運用を行っています。
- ⑧有収率は、類似団体平均値を上回っており、引き続き、計画的な漏水調査を実施して、更なる改善に努めます。

2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率
全国平均や類似団体平均を上回っており、今後も、更なる老朽化が進行していくことが予測されます。引き続き、計画的な施設の更新を進めていきます。
- ②管路経年化率
計画的に管路更新を行っており、全国平均や類似団体平均値と比較して、低い水準を維持しています。
- ③管路更新率
計画的に管路更新を行っておりますが、横町地区の民間開発による更新が行われたため、全国や類似団体と比較しても上回る結果となっております。

全体総括

経営の健全性・効率性に関する指標が示すとおり、現在の経営状況は概ね良好ですが、給水原価が全国平均や類似団体平均を上回っており、引き続き投資の効率化や維持管理費の削減に努めていきます。

今後は人口減少や水需要構造の変化等により、更なる水道料金収入の減少が見込まれる中、施設等の老朽化による計画的な施設の更新、耐震化に対応するために財政基盤の強化を図っていく必要があります。

このため、水道事業全般にわたる経営の合理化に努めつつ、今後の水道事業と水道料金のあり方について検討していきます。

経営比較分析表（令和4年度決算）

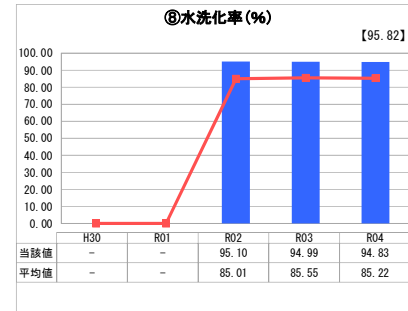
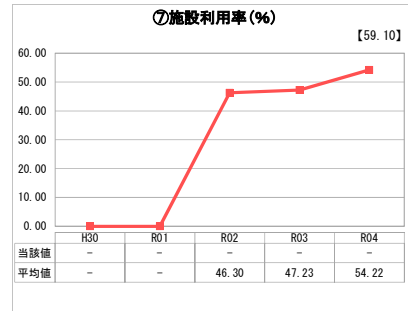
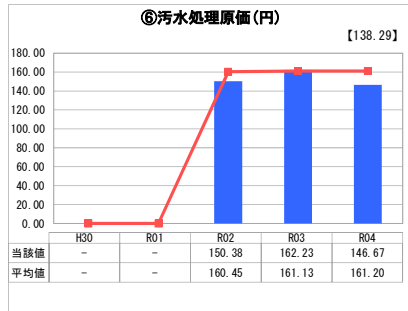
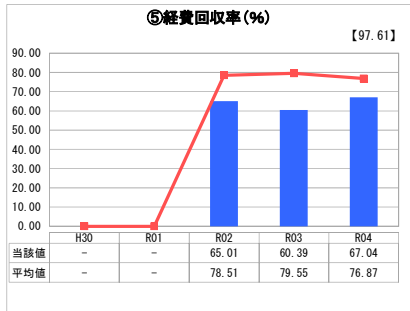
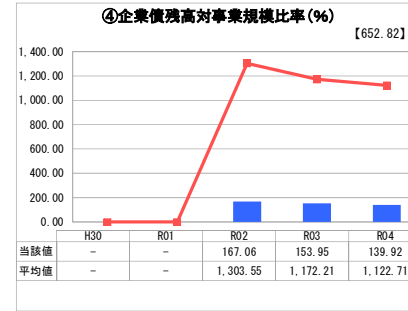
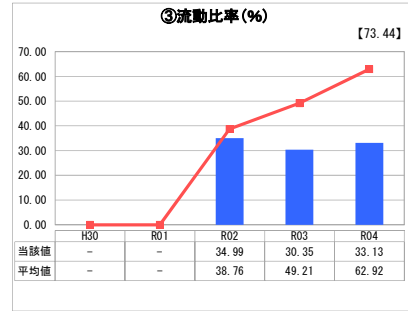
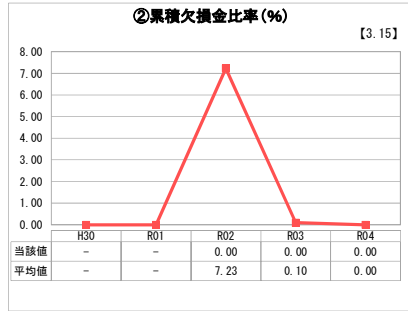
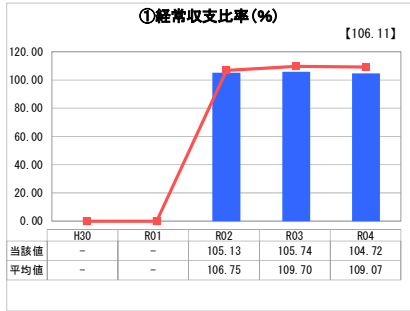
埼玉県 宮代町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cb2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	80.39	73.85	77.39	1,883

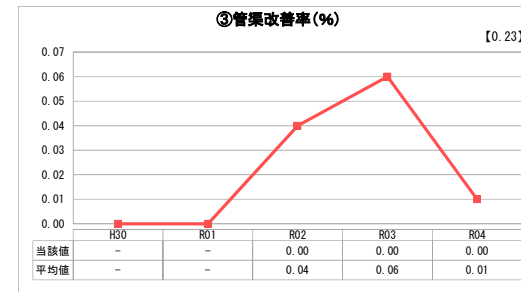
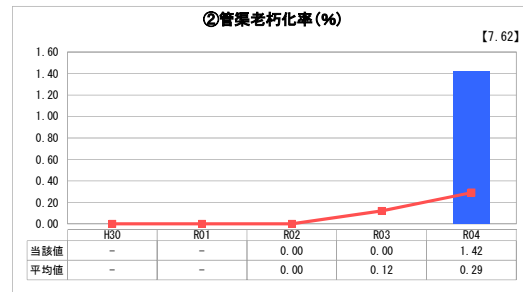
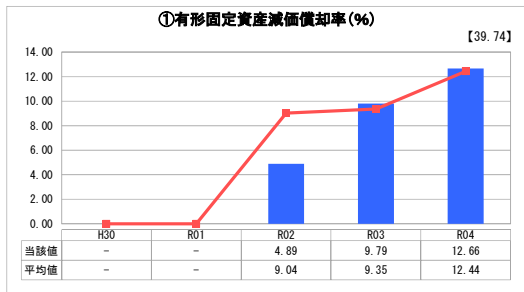
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
33,514	15.95	2,101.19
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
24,626	3.75	6,566.93

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率…経常収支比率は100%を超えています。経費回収率が100%を下回っているため、汚水処理費を一般会計からの繰入金で賄っている状態にあります。下水道使用料金の適正化や費用の削減に取り組み、経営改善をする必要があります。

②累積欠損金比率…なし。

③流動比率…流動比率が類似団体平均値と比べて大きく下回っている状態にあります。一般会計からの繰入金で費用を賄っている状態なので、下水道使用料金の適正化を行い、自己資金を確保する必要があります。

④企業債残高対事業規模比率…企業債残高対事業規模比率が全国平均値、類似団体平均値と比べて大幅に下回る結果となりました。企業債の支払いが進んでいるため、昨年度該当値と比較すると減少しています。

⑤経費回収率…経費回収率が100%を下回っており、類似団体平均値と比較しても下回る結果となりました。下水道使用料金の適正化や汚水処理費用の削減を行い、経営改善をする必要があります。

⑥汚水処理原価…類似団体平均値と比較して約15円下回っているが、全国平均と比較すると約8円上回る結果となりました。汚水処理費の削減などの経営改善を行うとともに、下水道使用料金の適正化を行い、自己資金を確保する必要があります。

⑦施設利用率…なし。

⑧水洗化率…水洗化率が類似団体平均値と比べて上回っているが、全国平均と比べると下回っています。水洗化率100%に向けて今後も接続の促進に努めます。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率…類似団体平均値と比べてほぼ同水準となつています。本町の下水道事業は昭和63年着手して平成5年から供用開始しています。令和32年をピークに年々増加していくと考えられます。令和4年度に策定したストックマネジメント計画に基づき、計画的な施設の更新に努めます。

②管渠老朽化率…法定耐用年数を超えた管渠延長があったため、類似団体平均値を上回っています。今後さらに増加すると考えられる法定耐用年数を経過した管渠に対して計画的に更新を行う必要があります。

③管渠改善率…なし。

全体総括

経営状況につきましては、下水道事業の運営財源を一般会計からの繰入金に依存しているため、下水道事業経営戦略に基づき、下水道料金の見直しなどを行い、経営の改善をする必要があります。

管渠の状況につきましては、業認可区域の整備が完了しているため、当面は施設の維持管理及び老朽化対策が主体となります。老朽化対策については、法定耐用年数に近い資産が増加しているため、計画的に施設の更新を行い、効率的な投資を図る必要があります。令和4年度に策定したストックマネジメント計画に基づき、安心安全な下水道サービスの提供に努めます。

※令和2年度から地方公営企業法を全部適用し、企業会計に移行したため、令和元年度以前の指標は表示していません。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

経営比較分析表（令和4年度決算）

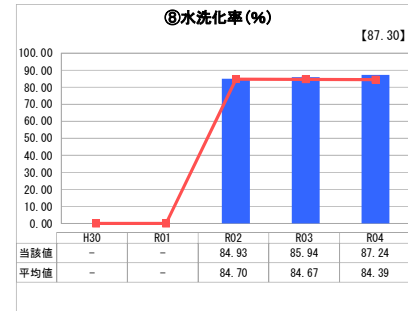
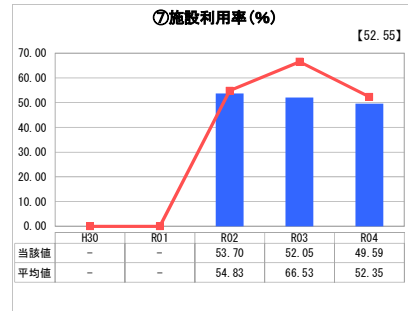
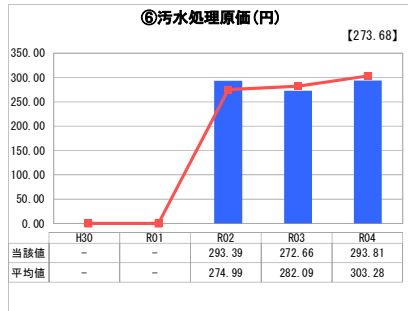
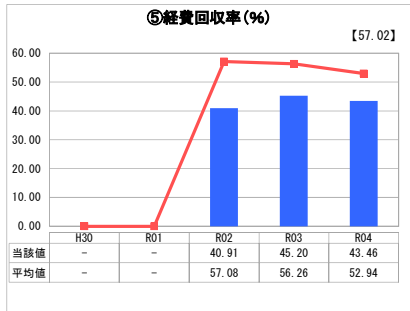
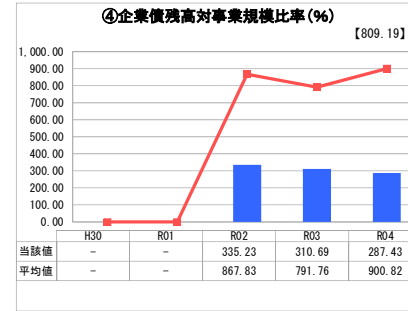
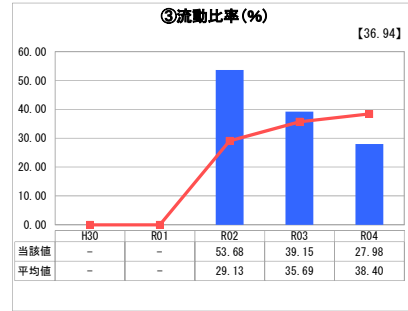
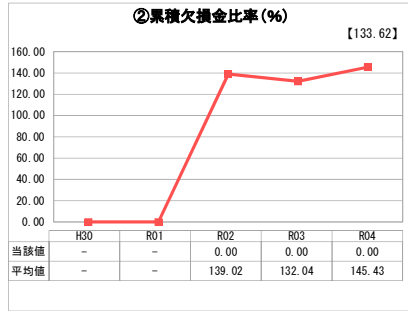
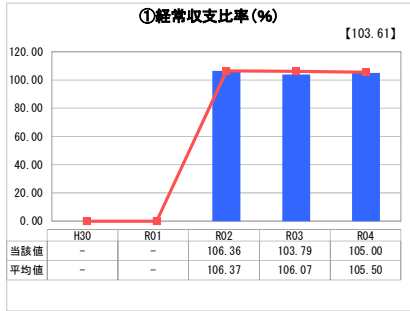
埼玉県 宮代町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	69.80	2.42	100.00	3,039

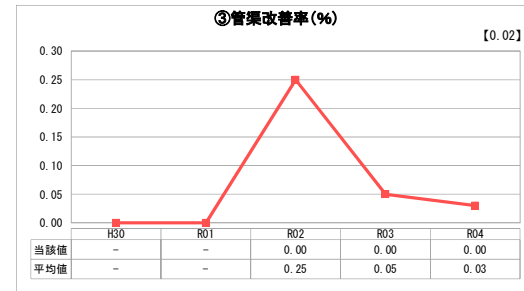
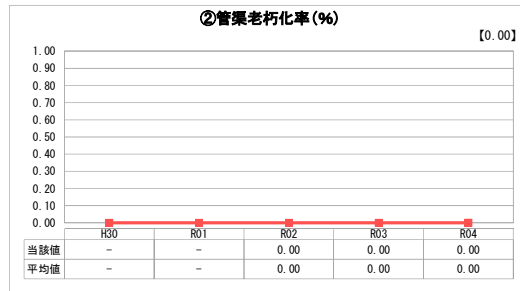
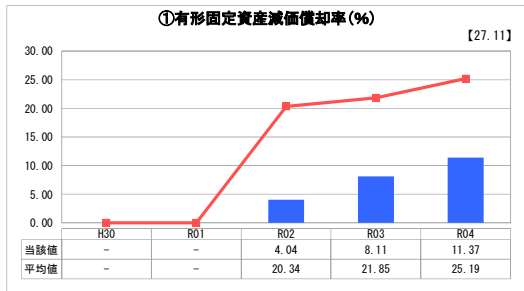
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
33,514	15.95	2,101.19
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
807	1.40	576.43

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率…経常収支比率が100%を超えています。経費回収率が100%を下回っているため、汚水処理費を一般会計からの繰入金で賄っている状況にあります。使用料金の適正化や費用の削減に取り組み、経営改善する必要があります。
 ②累積欠損金比率…なし。
 ③流動比率…流動比率が類似団体平均値と比べて下回っている状態にあります。過去の建設投資に対する企業債の償還額が大きく現金預金が少ないため、100%を大幅に下回っています。一般会計からの繰入金で費用を賄っている状態なので、使用料金の適正化を行い自己財源を確保する必要があります。
 ④企業債残高対事業規模比率…企業債残高対事業規模比率が全国平均値、類似団体平均値と比べて大幅に下回る結果となりました。企業債の支払いが進んでいるため、昨年度当該値と比較すると減少しています。
 ⑤経費回収率…経費回収率が100%を大きく下回っており、類似団体平均値と比較しても下回る結果となりました。使用料金の適正化や汚水処理費用の削減を行い、経営改善する必要があります。
 ⑥汚水処理原価…類似団体及び全国平均と比較して低い水準にあります。維持管理費の削減や、接続件数向上への取り組みを行う必要があります。
 ⑦施設利用率…類似団体及び全国平均と比較して低い水準にあります。処理人口減少などを踏まえて、公共下水道への接続などの多角的な施設運用を検討する必要があります。
 ⑧水洗化率…全国平均と同水準となっていますが、水洗化率100%に向けて今後も接続の促進に努めます。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率…類似団体及び全国平均と比較しても低い状況にあります。本町の農業集落排水事業は平成10年に着手し、平成17年に供用開始をしたため、施設の老朽化の状況については差し迫った課題があるとは言えませんが、今後は老朽化による更新費用が発生することが見込まれるため、費用の削減を目的として、宮代町下水道事業経営戦略に基づき、公共下水道への接続検討を行います。
 ②管渠老朽化率…なし。
 ③管渠改善率…なし。

全体総括

経営状況につきましては、経費回収率が100%を大きく下回っており、財源を一般会計からの繰入金に依存しています。使用料を見直し、使用料水準の適正化が対策の一つとして考えられますが、大幅な改善が必要なため、あまり現実的ではありません。本町の下水道事業経営戦略に基づき公共下水道への接続を検討し、抜本的な改革を模索します。

※令和2年度から地方公営企業法を全部適用し、企業会計に移行したため、令和元年度以前の指標は表示していません。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。